

『大阪維新の会』の動向と問題点

2012.11.11 清水雅彦

はじめに

- ・ 橋下批判の作法…『週刊朝日』2012 年 10 月 26 日号について
『ポリティーク』8 号（旬報社、2008 年）の石原特集にかかわって
- ・ 本講演について…

1 橋下徹について（浦田一郎・白藤博行『橋下ポピュリズムと民主主義』日本評論社など）

① なぜ橋下か

- ・ 「お笑い 100 万票」…西川きよし、横山ノックなどの選出
- ・ 大阪の貧困化…高い生活保護受給者率・失業率・犯罪発生率・非正規労働者率
- ・ 2009 年政権交代の失望…自民も民主もダメ、「第 3 極」に期待
- ・ 橋下のキャラクター…明快な発言、実行力、リーダーシップ、「何かやってくれそう」
- ・ 「妬み・嫉みの民主主義（ジェラシー・デモクラシー）」
…大阪市民の東京に対する又は一般市民の公務員等に対するコンプレックス・不満
（しかし、橋下は早大政治経済学部出身、弁護士、子ども 7 人の「勝ち組」）

② キャッチフレーズ・コピー（想田和弘『世界』2012 年 7 月号）

- ・ 「民意」「選挙で選ばれた代表」「決定できる政治」「既得権益」「二重行政」「大阪都構想」「対案を出せ」「文句があるならお前がやってみろ」「身分保障の公務員」「公務員は上司の命令に従え」「税金で飯を食う官僚」「トップ」「職務命令」「自称インテリ」「学者論議」「マネージメント」「リセット」
- ・ 人々が社会に対して抱いている不満や懸念を掬い上げる、感情を煽り立てる上手さ

③ 手法（小森陽一『橋下「維新の会」の手口を読み解く』新日本出版）

- ・ 悪役の意図的な捏造…公務員たたき、「小泉劇場」の焼き直し
- ・ 怒りとうらみを晴らす幻想与え…「閉塞感からの脱却」（実際は出口なしの状況へ）
- ・ 考える余裕を与えない…矛盾することを別々に言い、世論を見て選ぶ
- ・ 思考停止の強制…因果論的歴史的現実認識ではなく、白か黒かの二者択一へ
- ・ 紋切り型の連鎖へのはめこみ…「悪玉は教職員組合」「憲法 9 条を教えたのは組合」

④ 性格

- ・ 私憤を政策に…府・市の水道事業統合協議の破談後に大阪都構想
平松大阪市長を支援した大阪市公務員へのバッシング
一方的な節電要請を行った関西電力への批判
- ・ 肯定的評価…物事に対する吸収力・理解力の早さ、空気を読むのが上手い、愛嬌

⑤ 首尾一貫性のなさ・うそ

- ・大阪府知事選「2万%出馬はない」→出馬
- ・関西州構想（市町村優先・大阪府の解消）→大阪都構想（大阪市の消滅）
- ・「私鉄にも敬老パス」（市長選公約）→選挙後の有料化方針（「歩くことで健康になる」）
- ・大飯原発の再稼働「全く無理」→「事実上容認」

⑥ 民主主義観

- ・独裁の必要性、単純多数決主義
- ・ルール・手続の重視
- ・遵法精神…最高裁判決に対応した教育基本条例、政府答弁書に対応した公務員条例

⑦ 支持層

- ・高齢層、管理職・正規雇用の中上層、ナショナリズム・新自由主義支持層で強い、公務員不信等ジェラシーの政治、マジョリティの肯定（松谷満『世界』2012年7月号）
- ・一方で保守層からの批判
 - …『新潮45』2011年11月号特集『最も危険な政治家』橋下徹研究
 - 上原善広「孤独なポピュリストの原点」、野田正彰「大阪府知事は『病気』である」、薬師院仁志「机上の空論だらけのインチキ政策」
 - 『週刊文春』2011年11月3日号 「橋下徹42歳 書かれなかった『血脈』」
 - 『週刊新潮』2011年11月3日号 「独裁者『橋下知事』出生の秘密」
 - 『WiLL』2012年11月号 藤井聡「橋下『維新八策』徹底批判」
 - （興味深い『SAPIO』2012年8月22日・29日号特集「ネトウヨ亡国論」）

2 これまでの橋下政治

① 大阪の成長戦略

- ・集客力強化…世界最高水準の国際エンターテイメント都市の創出等
- ・人材力強化…国際競争力を勝ち抜くハイエンド人材の育成等
- ・産業・技術の強化…先端産業のさらなる強化等
- ・物流・人流インフラの整備…関空・阪神港・高速道路・鉄道・リニアの整備・強化等
- ・都市の再生…総合特区の活用による規制緩和・集中投資等

② 実績

- ・大阪府の財政再建…2008年度から減債基金借入れゼロ、黒字化
- ・具体策…敬老パス見直し、国保軽減見直し、保育料軽減見直し、学童保育事業補助金廃止、コミュニティ系バス運営費助成廃止、区民センターの統廃合、男女共同参画センターの廃止など

③ 教育

- ・君が代条例…君が代の起立斉唱を義務付け
- ・大阪府教育行政基本条例…知事教育振興基本計画作成、教育委員の罷免
- ・大阪府立学校条例…3年連続定員割れ学校の再編、通学区撤廃
- ・職員基本条例…職員評価に相対評価、職務命令違反者に対する処罰強化
- ・家庭教育支援条例案…ひきこもりや不登校、非行等は発達障害が原因かのような発想

④ 公務員対策（詳しくは、『法民』2012年6月号特集、『労旬』2012年6月上旬号特集）

- ・便宜供与の中止…組合事務所立ち退き要求、チェック・オフ廃止、
- ・労使関係に関する条例案…管理運営事項を交渉対象外、交渉内容公開
- ・公務員の政治的行為制限条例…勤務時間外でも政治的行為を制限

⑤ 管理

- ・全職員に対する思想調査アンケート、職員メール調査、入れ墨調査

3 「維新八策」（船中八策）の内容と検討（資料参照）

① 目指す国家像

- ・自立する個人・地域・国家の実現…社会保障の切り捨てなど新自由主義改革に適合的
- ・決定でき、責任を負う民主主義…立憲主義に反する単純多数決民主主義

② 統治機構

- ・中央集権型国家から地方分権型国家へ
…国による社会保障の後退、自治体の外交・安保面での服従
- ・統治機構…首相公選制・参議院廃止によるトップダウン方式、熟議民主主義の否定
- ・自治体破綻制度…第2第3の夕張、地域間格差の助長

③ 財政・行政・政治改革

- ・役人ビジネス感覚論…最近はやりのマネジメント論、新自由主義論
- ・国民総背番号制…社会保障費の抑制、問題は税制全体、人権へのリスク
- ・衆議院議員240人…国会定数削減は多様な民意反映の否定、民主主義の後退
- ・政党交付金削減…評価できる（政党交付金違憲論をどう考えるか）

④ 公務員制度改革

- ・公務員の能力・実績主義…能力主義評価の難しさ、教育・社会保障への悪影響
- ・職員基本条例…最近流行のマネジメント論
- ・公務員の選挙活動の制限…欧米との比較、そもそも労働基本権制限が問題

⑤ 教育改革

- ・教育の無償化と地方分権型教育行政…無償化は評価できる、地方分権型の具体策は？
- ・近年流行の教育改革…能力・競争主義の導入、学校選択など新自由主義改革

- ・教育委員会制度の廃止…政治の教育への介入へ
- ・長の権限強化・マネジメント論…大学の自治否定、異質な「人材」育成論
- ・教育基本条例など教育統制…教育の自由の侵害
- ・教職員労働組合の活動点検…教育労働者の労働基本権の侵害

⑥ 社会保障制度改革

- ・自助・共助・公助の役割分担明確化…国・自治体の役割後退と本人・家族負担増
- ・世代間格差の是正、努力に応じた保障、年金積立方式、混合診療解禁
…財界の要求、社会保障費の削減

⑦ 経済政策・雇用政策・税制

- ・競争力の強化、産業の淘汰、徹底した規制改革…国内における新自由主義改革
- ・自由貿易圏の拡大、T P P参加…経済のグローバル化
- ・脱原発依存…なぜみんなの党と組むのか、規制緩和・自由化と原発は両立しない
- ・労働市場の流動化…従来の労働法のさらなる後退

⑧ 外交・防衛

- ・日本の主権と領土を自力で守る…オスプレイ問題など自民・民主政権の対米従属は？
- ・日米同盟＋豪・韓との関係強化…自民・民主政権からの既定路線

⑨ 憲法改正

- ・96条の憲法改正用件の緩和…まず96条改正、そして9条改正、最終的に全面改正か
- ・首相公選制、参議院の廃止…熟議民主主義の否定
- ・憲法9条の国民投票…震災後のがれき処理が進まないのは「全ては憲法9条が原因」

おわりに

① 今後の橋下・維新の会は？

- ・支持の動向…大阪で強く京都では反発、全国的な支持率低下
- ・議員の質…松井幹事長の違法献金問題、東京維新の会の大日本帝国憲法復活請願賛成問題、寄せ集めの日本維新の会国会議員
- ・他党との関係…最も政策が近いのはみんなの党
人的関係が強くても政策に違いがあるのは自民党・石原新党

② 橋下・維新の会現象にどう向き合うか

- ・冷静な分析・認識…本質は新自由主義＋保守主義
- ・橋下から学ぶ…ネットの活用、愛嬌（人間的魅力）、行動力
- ・市民への説得・宣伝…小泉人気とその後の格差拡大、誰かではなく全体の問題
- ・対抗軸の形成…分断ではなく連帯（労働者・市民同士が対立する愚かさ）
「第3極」（本当は対抗勢力）のモデルはヨーロッパ的労働者政党